

● 「第65回 明るいセミナー」を開催（9月17日）

- ・今回の認証企業は、泉州においてロボット産業を展開する先進企業、(株)HCIです。元はより線機のメーカーでケーブル類を中心とした製造を得意としておられました。将来を見据えロボットの裾野の広さを実感し、企業へロボットシステムを導入するためのノウハウを蓄積し、そこに大きな需要を予見された点は、先見の明があると感じます。企業の事業展開に夢があり、求職者・社員の明るさや活気にも繋がっているようです。

● 「総裁選」や「代表選」を見て

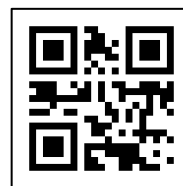
- ・厳しい国内外の社会情勢等に鑑みますと、日本の政治・経済をけん引すべきリーダーの存在は益々重要です。特に自国の将来については、「国家観」や「歴史観」だけでなく、複雑化する世界にどう対応すべきかの「世界観」も重要度を増してきています。
- ・山積する国内の諸問題を大所高所から見る「大局観」は、政治の世界だけでなく私達や中小企業においても忘れてはならない大切な視点ではないかと思えます。

● 大谷 効果

- ・大リーグでの大谷選手の活躍は、改めて紙面を割く必要がない位に驚異的です。彼の日常や試合の様子で一番印象に残るのは、従来の日本人選手にありがちな悲壮感や根性論等が一切感じられない点です。勿論、厳しい自己管理や練習の積み重ねはあっても、何といたってその自然体の振る舞いと明るさです。近年の日本のオリンピック等にも類似した明るい若者気質が、今後の日本社会の明るさにも繋がればと思います。

< 10月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 10月号
- ② 年会費納入のお願い（該当者には別途郵送の予定です。）



明るいシステム  
倶楽部  
ホームページ

< 10月の主な活動予定 >

10/5(土)	気楽な ZOOM サロン(46)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00~21:30
10/23(水)	役員会議(51)	「明るいセミナー」の今後について	14:00~15:00
10/23(水)	明るいシステム検討会議(34)	「明るいシステム」の整理・分析	15:20~16:20
10/11(金)	「輝く未来の宝探し」(3)		20:00~21:30

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

10/9(水)	菊池教室(45)	感性を育む和学講座	20:00~21:30
10/22(火)	柴原・松居教室(38)	「チーム力 (仮題)」	20:00~21:30
10/26(土)	宮崎教室(49)	「言葉の力で問題を解決！」	20:00~21:30

## 地域での交流・コミュニケーション」第3弾

明るいシステム倶楽部 会員 黒田 能弘 (よしひろ)

先々月は夏休みとあって、子どもと接する機会が多くあり、小生も元気をもらったりしています。8月25日には、「天神天満阿波おどり」を見学到天六まで脚を延ばしました。

小生は、盆踊りが大好きなのです。それは、中学生時代に母親にせがまれ、会場に自転車で運んであげられるのです。多い時には、3会場くらい“はしご”です。なぜなら、会場ごとに時間帯が異なるからです。それを母親は良く知っていて、最初の会場が終わるやいなや、次の会場に向けてせかせるのです。終わると11時頃になったりするのです。

母親を後ろの荷台に乗せて運ぶのは、恥ずかしい面があるのですが、夕暮れから夜中までの移動ですから、知り合いに顔を見られずに済んだのです。母親が夢中になって踊っている姿を見るのは、とても楽しみでした。そんな記憶があるものですから、各地の盆踊りに行くのは、母親を思い出すことにつながるのです。本場の徳島には2回行ったし、富山市八尾町の「おわら風の盆」も一度行ったことがあります、徹夜で小生も踊ったことがあります。最近では、テレビで毎回楽しんでいます。動と静の代表的な踊りですよ。

話しは変わりますが、当方のNPO法人の活動として、6月、7月、8月に月1回のセミナーを行ってまいりました。テーマは、『「明るい・安心者後＝生前活セゼンカッ！」法的支援＋相談会』と題し、おひとりさま&おふたりさま(夫婦のみ)の、“今、これからの不安・悩み”にアドバイスします、明るい生前活(生前契約)の話です。暗いイメージの「終活」の話ではありません。と謳っています。場所は、認知症対応型デイサービス。参加者は利用者の家族さんその他でした。

第1回は、「もしも」の身体能力の衰え、病気、入院、孤立に備える方法——不安が消える①「見守り・相談契約」と②「財産管理等の委任契約」って、なに？ 第2回は、「もしも」の時の「認知症」に備える生前準備——いざという時に役立つ「任意後見契約」と「エンディングノート」って、なに？ 第3回は、「もしも」ではなく、いずれ必ずおこるであろう、あなたの亡くなったあとの手続きを第三者に託す方法——「死後事務の委任契約」と、「遺言・遺産寄付」って、なに？

これについては、次回より詳しくお話しさせていただきます。



「生前活！アドバイザー」 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆西国三十三所札所巡り旅 (26)

西国 第 24 番札所 中山寺

紫雲山 中山寺 (兵庫県宝塚市)

本尊：十一面観世音菩薩

明るいシステム倶楽部 会員 阿久根芳臣

行程：大阪市内から 28 k m (阪高池田線～池田(国道 176 号)～荒牧交差点右折～中山寺)

大阪～宝塚のルートは、阪高池田線を使っても一般道でもとにかくよく渋滞するので、出発時間によってルートを決めればよいが、最悪でも 1 時間あれば到着できると思う”。

渋滞を嫌って電車なら阪急宝塚線で梅田から中山観音駅まで行けば確実に 30 分で着く。山門は駅前からすぐで電車代は 290 円だ。しかし、今回は当初の趣旨が歩きを極力減らす乗用車による”楽ちん巡礼”なので高速道路を使って行った。多少の渋滞には巻き込まれたが 1 時間ほどで到着した。自動運転機能を使えば渋滞もそんなに苦にならずに行ける。今回は阪高池田から国道 176 号経由で来たが、中国宝塚 IC で降りるのが本当は一番近い。

ここ中山寺は聖徳太子を開基とし、開創千四百年を数える、わが国最初の観音霊場とされ、本尊の十一面観世音菩薩立像(重文)はインド勝鬘夫人しょうまんぶにんの姿を写したものと伝え、毎月十八日に開扉されている。

安産祈願の中山観音として有名で、同寺の「鐘の緒」は出産の無事安泰を祈る安産の腹帯として、皇室から庶民まで広く信仰をあつめている。

本堂までは妊婦、高齢者に配慮したエスカレーターも設置されており、若い夫婦が互いの両親を伴って参拝に訪れていたり、子ども連れのお礼参りの人たちでも賑わい、西国の他の寺とはどこか違う、若やいだ雰囲気につつまれたいいところだ。安産を祈る人々が、全国からこの寺に腹帯をいただきに参るのだが、広まったきっかけは豊臣秀吉がこの観音に祈って秀頼を授かったことに始まるという。

また、同寺の御腹帯を受けて明治天皇が平産されたことから明治天皇の勅願所となり、以降は皇室でのご懐妊の都度、御腹帯を献上している。

秀頼は、何度か戦火にあったこの寺の再建に尽力し、現存する本堂や護摩堂、大師堂などは当時の建築で、また山門は徳川家光の頃に完成した。

本堂の左手、一段高いところに阿弥陀堂、信徒会館があり、会館の左の坂を上った処には一千本の梅林が広がる公園になっている。足に自信のある人は奥の院へのハイキングも楽しいだろう。一時間あまりで「清荒神」へも下りられるそうだ。

立派な山門 (重層の仁王門) 色鮮やかな五重塔 (平成 29 再建) 華麗な彩色の本堂



## ＜母から負け犬といわれてボロボロ＞

明るいシステム倶楽部 理事 宮崎 英二



会社の上司からダメ出しをされたり、怒られることがよくあって落ち込んでいるA子さん。上司は私だけではなく他の部下にもよく怒っていて、職場の空気は暗くていやになります。私は失敗しないように気を付けてやっていますが、ちょっとしたことでまたぶつぶつ言われます。こんな人のもとで仕事を続けることはできないと前から思っていて、母に「もう会社を辞めたい」と相談しました。

母は以前から石の上にも3年とか、この世の中はガマンすることができないとダメ人間になるよとか、苦勞の向こうに幸せがあるのだよということが口癖なので、今回もきっと説教されるだろうなと思っていました。

すると案の定、「そんな弱気でどうするのだ。そんなことくらいで辞めたいというのは負け犬だ」とくじかれてがっかりです。

「会社で怒られ、母にくじかれて心はぼろぼろ」という悩みの解決法を知りたいのです。

- ◆お母さんは自分の過去の「苦勞」「忍耐」「努力」の経験から「自分は弱音をはきたくてもはかずに、がまんと努力をしてきた。それなのに娘はすぐに弱音をはく。それが許せない」という心境だったのでしょね。
- ◆お母さんの思考回路は自分の過去の経験則で固まっていて、そのファイルの中から「こんな場合は〇〇だ」と当てはまる答えを取り出してきたのです。つまり「私は歯を食い縛って乗り越えてきた。だからA子もそうすべきだ。もっと強くならないでどうする」という思考パターンが染みついているのです。
- ◆この場合、お母さんは「私が苦勞してきたことをだれもわかってくれなかったし、だれもほめてくれなかった」ということを言いたかったはずですが、その表現ができなくて「負け犬になるな」という言葉で表したのですから、まず、A子さんからお母さんの人生の苦勞を認めてほめてあげることが先決なのです。
- ◆「お母さんは、やさしくて愛があって、本当に強くて賢くて、ふつうなら心も体もボロボロになって、生きておられないことでも乗り越えてきた心の大きい人ですね。だから世間の人から尊敬されるのですね」という言葉でお母さんの心をゆったりと満たして喜びの感情にシフトすることで、よりよい会話が生まれる心境となります。
- ◆その結果、お母さんは、最愛の娘の幸福のために最善の考えを模索して、  
「大好きなA子さん、あなたは私の一番の娘であり、最高の宝物、あなたが幸福になるために、どんなことがあってもあなたを守り、支えていくからね。あなたはそんなイヤな上司であってもそれを乗り越える能力があるはずだし、会社を辞めて、違う会社であなたの能力を発揮することもできるはず。あなたが選択していくことに私は全力で応援しますからね」

⇒A子さん。お母さんからこんな答えをもらったら、どうですか。

A子「最高です。涙が出そうです。悩みが吹っ飛びます」

ヒューマニクス研究所／ハピネス心理学 代表